

都市再生整備計画 事後評価シート
津駅北部地区

令和2年9月

三重県津市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	三重県		市町村名	津市		地区名	津駅北部地区			面積	30.4ha		
交付期間	平成26年度～平成30年度		事後評価実施時期	平成30年度		交付対象事業費	2,875.3	国費率	0.40				
1) 事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路:(都)津駅栄町線外1線改良事業、道路:市道江戸橋一身田線改良事業、高質空間形成施設(緑化施設等):(都)橋北ふれあい道路整備事業、土地区画整理事業:津駅北部土地区画整理事業										
		提案事業	事業活用調査:事業効果分析										
	当初計画から削除した事業	事業名			削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		基幹事業	-			-				-			
		提案事業	-			-				-			
新たに追加した事業		基幹事業	-			-				-			
提案事業	-			-				-					
交付期間の変更	当初	-		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-						
	変更	-											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	区域内の事故件数	件/年	13	H25	10	H30	8	3	○	あり なし	道路事業や土地区画整理事業の進捗により、区域内の交通環境が改善された結果、事故件数の減少につながったと考える。	R2年 10月頃
	指標2	公共空間の割合	%	19	H25	25	H30	25	25	○	あり なし	土地区画整理事業の進捗により、区域内の道路面積が増加した結果、公共空間の割合の増加につながった。	-
指標3	まちづくりに対する満足度	%	32	H25	65	H30	-	79	○	あり なし	道路事業や土地区画整理事業の進捗により、区域内に良好な都市空間が形成されつつある。このような状況を市民が評価し、満足度の上昇につながったと考える。	R2年 10月頃	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	住みやすいと感じている市民の割合	%	75.2	H24	/	/	-	88.4	/	/	道路事業や土地区画整理事業などが進捗したことにより、駅周辺の利便性や居住性が更に評価された結果、住みやすいと感じる市民の割合が増加したと考える。	R3年 1月頃
その他の数値指標2	区域内地価公示価格の比較	円/㎡	73,800	H25	/	/	-	74,460	/	/	土地区画整理事業の進捗により、駅周辺の立地条件にプラスして、良好な住環境が提供できる基盤が整いつつあることが評価され、地価の上昇につながったと考える。	R2年 10月頃	
5) 実施過程の評価	実施内容												
	モニタリング					実施状況				今後の対応方針等			
	社会資本総合整備計画 中間評価					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● モニタリング結果を基に、事業計画の内容を精査し、事業が円滑に進むよう関係各課と調整を図り、事業を進捗する。			
	住民参加プロセス					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地域住民等と協働で作上げた公園・道路について、引き続き、地域住民等による日常的な維持管理を支援する。			
持続的なまちづくり体制の構築					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地域住民等と協働で作上げた公園・道路について、地域住民等による積極的な緑化活動を引き続き支援する。				

様式2-2 地区の概要

津駅北部地区(三重県津市) 都市再生整備計画事業の成果概要								
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値
大目標 風格のある県都津市にふさわしい、安全・安心かつ良好な都市空間の形成 目標1 駅周辺として、利便性の高い良好な都市空間の形成を推進する。 目標2 基盤整備を進め、防災面や交通安全面に優れたまちづくりを推進する。	区域内の事故件数	件/年	13	H25	10	H30	3	H30
	公共空間の割合	%	19	H25	25	H30	25	H30
	まちづくりに対する満足度	%	32	H25	65	H30	79	H30
	住みやすくと感じている市民の割合	%	75.2	H24			88.4	H30
	区域内地価公示価格の比較	円/㎡	73,800	H25			74,460	H30
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 道路事業や津駅前北部土地区画整理事業により、津駅周辺の利便性を活かした快適な生活空間形成のための基盤整備が進み、防災面や交通環境の改善が図られるとともに、駅利用者等が安全に通行できる歩行区間が拡大した。 津駅東口への進入路及び江戸橋駅から三重大学までの未整備箇所の整備が進み、アクセス環境の改善が進んだ。 高質空間形成施設により、旧伊勢街道の面影を感じることができる(都)橋北ふれあい道路の整備が完了。整備計画段階から地域住民と協働により取り組み、整備完了後も住民による積極的な緑化活動が行われる等、住民と協働によるまちづくりが行われている。 基盤整備の進展に伴う東西方向の交通量の増加により、大谷踏切がボトルネックとなり慢性的に渋滞している。 							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> (効果を持続させるために行う方策) 適切な維持管理等により、整備された道路や歩行空間の安全性を維持する。 地域住民との協働により、整備された快適な生活空間や良好な景観を維持する。 整備された道路および、その周辺道路への適切な交通規制や法定外表示の設置等により、整備されたアクセス環境を維持・活用するとともに生活道路の通過交通を抑制する。 (改善策) 道路事業や津駅前北部土地区画整理事業の早期完了を目指すことで、防災面や交通環境の改善、歩行空間の確保、三重大学へのアクセス改善を推進する。 基盤未整備箇所において、狭あい道路の解消や耐震化など、地域の防災性を向上する。 基盤整備された津駅周辺への都市機能の集積を目指し、市街地再開発事業の促進など津駅周辺の利便性を活かした高度な土地利用の推進を図る。 大谷踏切の拡幅整備により、市街地の東西方向の交通円滑化、安全性確保を図る。 							